

テクノアソシエグループ 責任ある鉱物調達ガイドライン

1. テクノアソシエグループ 責任ある鉱物調達対応方針

テクノアソシエグループは、調達方針に記載の通り、「関連する法令を遵守し、社会的な規範も踏まえた調達活動」を実施していますが、コンゴ周辺諸国の紛争鉱物問題*や最悪の形態の児童労働問題が危惧されているコバルト関連ほか、紛争地域および高リスク地域(CAHRAs)における人権侵害や労働問題など、経済協力開発機構(OECD)のデュー・ディリジェンスガイダンス Annex II 記載のリスクをサプライチェーンにおける重大な社会問題の一つと認識しています。調達活動における社会的責任を果たすため、エレクトロニクス営業本部・自動車営業本部・エリア営業本部の3営業本部を主管とした社内体制を構築し、これらの不正に関わる鉱物を原材料として使用しない「責任ある鉱物調達」を目指します。そのために必要に応じて、これらの不正に関わる鉱物の使用状況についてサプライチェーンを調査し、人権問題などの各種社会問題を引き起こす、あるいは、武装勢力の資金源になっている懸念のある場合には、使用回避に向けた取り組みを実施します。

*紛争鉱物問題: コンゴ民主共和国およびその周辺国で産出されたタンタル、タングステン、錫、金
またはそれらの派生物で、その取引が深刻な人権侵害を行っている武装勢力の資金源になっている問題

2. OECD ガイダンスに沿った管理、CMRT / CRT による調査の実施

テクノアソシエグループでは、経済協力開発機構(OECD)の「紛争地域および高リスク地域からの鉱物の責任あるサプライチェーンのためのデュー・ディリジェンス・ガイダンス」を参考に、サプライチェーンに対する高リスク鉱物デュー・ディリジェンスを実施しています。調査については、Responsible Minerals Initiative (RMI) の「紛争鉱物報告テンプレート(CMRT)」、「コバルト報告テンプレート (CRT)」を使用しています。

3. お取引先との連携

お取引先には、調達方針の「お取引先との相互理解と相互信頼の上に立った連携」に則って、当方の考え方をご理解頂き、前記調査へのご協力と、サプライチェーン全体に亘る「責任ある鉱物調達」の実現に取り組んで頂けますようお願いしてまいります。

4. 情報開示

テクノアソシエグループでは、ステークホルダーからのご要請に応じて、合理的な範囲で情報を開示します。その対象は、「責任ある鉱物調達」への取組方針・内容・状況等を含みます。

2021年1月26日

株式会社テクノアソシエ

エレクトロニクス営業本部・自動車営業本部・エリア営業本部 所管

常務取締役 永江 信久